

CA NSM 用
Dell OpenManage
Connection バージョン 3.4
ユーザースガイド



メモおよび注意



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 すべての著作権は **Dell Inc.** にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell™、DELL のロゴ、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、KACE™、FlexAddress™、および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core™、および Celeron® は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。AMD Opteron™、AMD Phenom™、および AMD Sempron™ は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、MS-DOS®、および Windows Vista® は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat Enterprise Linux® および Enterprise Linux® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® は、米国およびその他の国における Novell Inc. の登録商標です。SUSE™ は、米国およびその他の国における Novell Inc. の商標です。Oracle® は Oracle Corporation および / またはその関連会社の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer®、XenMotion® は米国およびその他の国における Citrix System, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、Virtual SMP®、vMotion®、vCenter® および vSphere® は、米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

本書で参照される CA ロゴおよび CA 製品名は、CA, Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

目次

1	はじめに.....	5
	概要	5
	OpenManage Connection v3.4の新機能	6
	対応 Systems Management Software	6
2	OpenManage Connection の使用.....	7
	概要	7
	OpenManage Connection コンポーネント.....	7
	エージェントとクラス.....	7
	デバイスクラスとデバイスクラス名.....	8
	Dell システムの検出	8
	Dell システムの分類	8
	Dell システムの監視	10
	Dell デバイスからの SNMP トラップの処理	10
	Enterprise Management (EM: エンタープライズ 管理).....	10
	イベントメッセージフォーマット.....	11
	コンソールの起動	13
	OMSA/OMSS.....	13
	DRAC/CMC.....	14
3	エラーメッセージ.....	15

4	トラブルシューティングとよくある お問い合わせ (FAQ)	17
	トラブルシューティング	17
	Dell エージェントが検出されない	17
	警告を受け取れない	18
	Server Administrator またはリモートアクセス コンソールが起動しない	19
	Dell 管理下システムのビジネスプロセスビュー (BPV) で Dell システムが見つからない	19
	DRAC 5 デバイスが検出されない	19
	OpenManage Connection のインストール後、 DRAC/CMC がモジュラ / モノリシック サーバーのようにグループ化されない	19
	イベントコンソールで SNMP トラップが未処理 フォーマットで表示される	20
	OpenManage Connection EM コンポーネントの インストール後、DRAC デバイスからの SNMP トラップが EM コンソール上で変換されない	20
	管理コンソールを起動できない	21
	Dell OpenManage Server Administrator エージェントの BMCIP プロパティが 投入されず、値が「Not Set」(未設定) になっている	21
	Dell デバイスを分類できない	21
	RHEL 6.0 オペレーティングシステムを搭載 した Dell システムが Dell システムとして 分類されない	21
	HTTPS ポート番号の変更後、iDRAC 6 モジュラ デバイスでコンソール起動が機能しない	21
	よくあるお問い合わせ (FAQ)	22
5	関連文書およびリソース	23
	その他の必要マニュアル	23
	テクニカルサポートの利用法	24

はじめに

概要

本ガイドは、Computer Associates (CA) Network and Systems Management (NSM) r11.1 SP2、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1、および CA NSM r11.2 SP2 向け Dell OpenManage Connection (以下 OpenManage Connection と呼びます) を使用して Dell デバイスを管理するユーザーを対象とするものです。

OpenManage Connection は、Dell PowerEdge および PowerVault システムの管理を CA NSM ユーザーに提供するためのシステム管理統合ツールです。このツールにより、ユーザーは次が可能になります。

- 広範囲に分散した企業ネットワークから収集され、単一の CA NSM コンソールにおいてリアルタイムで使用されるシステム正常性情報を提供するための、Dell エージェントを利用した Dell システムの監視。
- Dell システムの管理を容易にするためのシステム管理の統合。
- Dell OpenManage Server Administrator (OMSA)、Dell OpenManage Storage Management Service (OMSS)、Dell Remote Access Controllers (DRAC 5)、Integrated Dell Remote Access Controllers (iDRAC)、および Dell Chassis Management Controller (CMC) などのシステム管理アプリケーションの起動と使用。
- Distributed State Machine (DSM) を介した Dell エージェントの分類と状態ポーリング。
- DSM を介した Dell エージェントのトラップの処理。
- WorldView (WV) を介した Dell エージェントのウェブベース GUI の起動。

OpenManage Connection は、Enterprise Management Console でデル特有のアラートが受信されたときに、システム管理担当者が Dell システムに対する是正措置を取ることも可能にします。これらのアラートには、温度、ファン速度、およびシャーシインテリジェンションが含まれます。

OpenManage Connection v3.4 の新機能

- CA NSM r11.2 SP1、および CA NSM r11.2 SP2 のサポート
- OpenManage バージョン 6.2 ～ 6.5 に対する追加サポート（既存の OpenManage バージョン 6.1 に対するサポートも含む）
- Dell OOB 下でのモジュラー iDRAC の自動グループ化のサポート
- OpenManage Connection バージョン 3.3 から OpenManage Connection バージョン 3.4 へのアップグレードのサポート

対応 Systems Management Software

次の表では、OpenManage Connection バージョン 3.4 でサポートされる Dell エージェントおよびバージョンがリストされています。

表 1-1 対応 Systems Management Software

エージェント	対応バージョン
Dell OpenManage	6.1 ～ 6.5
DRAC 5	1.51 および 1.6
iDRAC 6（モジュラ）	3.21 および 3.3
iDRAC 6（モノリシック）	1.7 および 1.8
CMC	3.2 および 3.21

OpenManage Connection の使用

概要

Dell システム上の管理機能を強化するために、OpenManage Connection は一連のシステム管理アプリケーションと統合されます。

OpenManage Connection コンポーネント

OpenManage Connection は、Distributed State Machine (DSM)、WorldView (WV)、および Enterprise Management (EM) の 3 つのコンポーネントで構成されています。OpenManage Connection コンポーネントは次のタスクを実行します。

- DSM：エージェントを分類および監視し、エージェントのトラップをフォーマット。
- WV：システム管理アプリケーションの起動ポイントを提供し、サブシステムの状態を表示。
- EM：リモートアクセスコントローラ (RAC) のメッセージレコードを記録。

エージェントとクラス

次の表に、OpenManage Connection バージョン 3.4 でサポートされるエージェントおよびクラス名をリストします。

表 2-1 エージェントとクラス名

エージェント	クラス名
Server Administrator	DellServerAdmin
Server Administrator ストレージ管理サービス	DellStorageManager
Inband RAC	DellRemoteAccessController
DRAC5、CMC、iDRAC6	DellOOBDevice

デバイスクラスとデバイスクラス名

次の表に、OpenManage Connection バージョン 3.4 でサポートされるエージェントおよびクラス名をリストします。

表 2-2 デバイスクラスとデバイスクラス名

デバイスクラス	デバイスクラス名
Dell 帯域外デバイス	DellOOB

Dell システムの検出

CA NSM の検出プロセスにおいて、Dell エージェントがインストールされているシステムが検出されますが、分類はされません。OpenManage Connection は、検出済みシステムを NSM データベース内でポーリングし、Dell エージェントがインストールされたシステムを Dell システムとして分類します。

NSM の検出プロセスの詳細については、『CA NSM』のマニュアルを参照してください。

Dell システムの分類

OpenManage Connection バージョン 3.4 は、Dell システムを **Dell** 管理下システム グループ下で 3 つのグループに分類します。

- DellOOB RAC
- モジュラシステム
- モノリシックシステム

DellOOB RAC

DRAC5 および iDRAC 6 などの DRAC デバイスのリストを表示するには、**DellOOB RAC** を展開します。

モジュラシステム

モジュラシステムが存在するシャーシのサービスタグを表示するには、**Modular System** (モジュラシステム) を展開します。シャーシおよび Chassis Management Controller (CMC) デバイス内のモジュラシステム一覧を表示するには、サービスタグを展開します。

モノリシックシステム

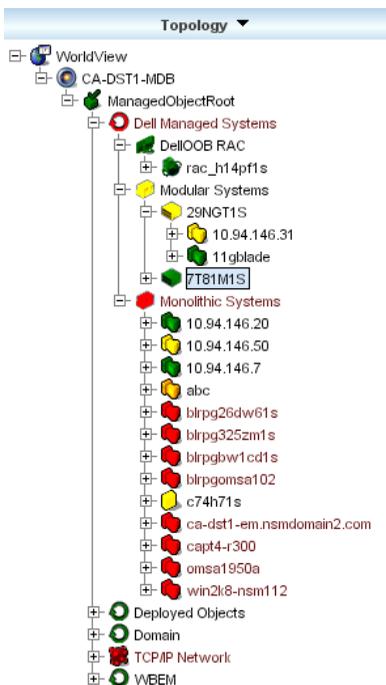
モノリシックシステムを表示するには、**Monolithic Systems**（モノリシックシステム）を展開します。

 **メモ**：OpenManage Connection は、Dell Managed Systems（Dell 管理下システム）と呼ばれる Business Process Views（ビジネスプロセスビュー）も動的に作成し、検出された Dell エージェント装備のシステムをそのビューに投入します。

 **メモ**：Dell デバイスは、システム名または IP アドレスのいずれかで表示されます。

次の図は、分類のツリービューを表しています。

図 2-1 分類のツリービュー



Dell システムの監視

Dell デバイスの分類後、正常性ポーリングが Dell エージェント装備のデバイスで一定間隔で行われます。正常性ポーリング中、Dell エージェントのグローバルステータスが取得され、CA NSM コンソールに反映されます。

DSM および WV コンポーネントは、率先に各エージェントをポーリングし、エージェントの状態を示すためにアイコンの色を変更します。表 2-3 では、Dell エージェントの正常性状態を示すアイコンがリストされています。

表 2-3 Dell エージェントの正常性状態インジケータ

アイコン	Dell エージェントの正常性状態
緑色	正常状態
黄色	警告しきい値を超える電圧、電流、温度、またはファン測定値などの警告状態
赤色	重大アラーム。デバイスが故障した、または不具合しきい値を超えており、故障の可能性がある
黒色	システムが使用不可
灰色	不明の状態



メモ：デフォルトのポーリング間隔は 1800 秒です。



メモ：デフォルトの SNMP タイムアウトは 16 秒です。



メモ：ポーリング中に不具合が発生した場合、再試行のデフォルト最大数は 5 回です。

Dell デバイスからの SNMP トラップの処理

Dell OpenManage Connection は Dell エージェント (OMSA, OMSS, および RAC) によって生成されたトラップを処理します。また、プラットフォームイベントトラップも OpenManage Connection によって処理されます。トラップのフォーマットは OpenManage Connection の DSM コンポーネントが担当します。

Enterprise Management (EM: エンタープライズ管理)

Server Administrator はイベントトラップを生成し、関連するシステム管理アプリケーションのアイコンの色を変化させることで、特定システムのステータスを更新します。正常性アイコン色の詳細については、表 2-3 を参照してください。これらのイベントは NSM Enterprise Management コンソールに表示され、コンソールログに書き込まれて、システムアイコンにステータスの変化が反映されます。



メモ：Server Administrator Storage Management Service のトラップは、System Administrator アラートログにログ記録されます。

Dell プラットフォームイベントトラップ (PET) イベントについては、**Server Administrator** はトラップにホスト名を埋め込み、イベント メッセージに添付されます。これにより、ユーザーはアラートを生成したシステムを特定することができます。メッセージのサンプルについては、「[イベントメッセージフォーマット](#)」の項を参照してください。

 **メモ**：DellPET アラートは、エージェントからではなく、ハードウェアから直接送信されるため、システム アイコンのステータスの色は変更されず、いかなるシステム管理アプリケーションのアイコンも影響を受けません。

イベントメッセージフォーマット

DSM は、すべてのイベントメッセージのフォーマットを行います。

 **メモ**：アプリケーション特有のイベントメッセージについては、該当する文書を参照してください。

イベントメッセージのフォーマット

表 2-4 に、標準的なイベントメッセージフォーマット、および **Server Administrator** と **Server Administrator Storage Management Service** のトラップ、RAC (帯域外)、DellPET イベントメッセージの例をリストします。

表 2-4 標準的なイベントメッセージフォーマット

イベントメッセージのタイプ	シナリオ	フォーマット	例
標準的なイベントメッセージフォーマット	システム基板のファンしきい値が警告から正常に変化した場合、 Server Administrator は CA NSM Enterprise Management コンソールに次のメッセージを送る場合があります。	[nodeClass, Operating System, Agent Name, Agent Name, previous state, current state, event message text, eventID]	Host:Windows2000_Server Windows2000_Server Administrator Trap Agent:ServerAdministrator Warning Up Fan sensor returned to a normal value Sensor location: ESM MB Fan1 RPM Chassis location: Main System Chassis Previous state was: Non-Critical (Warning) Fan sensor value (in RPM): 4740 Dell Event ID: 1102

表 2-4 標準的なイベントメッセージフォーマット (続き)

イベントメッセージのタイプ	シナリオ	フォーマット	例
状態ポーリング 変化の標準的な イベントメッ セージフォー マット	ポーリングが警告か ら重大に変化した場 合、Server Administrator DSM ポリシーは CA NSM Enterprise Management コ ンソールに次のメッ セージを送る場合が あります。	[nodeClass, Operating System, agent policy, status object name, previous state, current state, status variable name]	Host:Windows2000_ Server Windows2000_Server ServerAdministra tor Policy DellSerAdmGblStatu s Warning Critical systemStateGlobalS ystemStatus
DellPET の標準 的なイベント メッセージ フォーマット		Dell:BMC BMC PET Trap Agent:BMC Unknown <SEVERITY> <TRAP DESCRIPTION> Dell Event ID:<TRAP ID#> serverHostNa me:<serverHo stName>	Dell:BMC BMC PET Trap Agent:BMC Unknown Critical SD Card Redundancy Lost Dell Event ID:1379073serverHo stName:INBGR805A
DellOOBDevice の標準的なイベ ントメッセージ フォーマット	DRAC 5、CMC、 iDRAC 6 などの DellOOB デバイス は、CA NSM Enterprise Management コ ンソールに次のメッ セージを送る場合が あります。	[nodeClass, Dell OOB, Agent Name, previous state, current state, event message text, eventID]	OtherDevices:Del lOOB Dell OOB DellOOBDevice Trap Agent:DellOOBDevice Critical Critical The RAC generated a test trap event in response to a user request.Dell Event ID: 19055

コンソールの起動

Dell システムが分類されると、Dell OpenManage Server Administrator、Dell OpenManage Storage Management Service、および Dell Remote Access Controller などの様々な Dell システム管理アプリケーションを使用して Dell システムを監視できます。Dell システムは NSM Management Command Center (MCC) ビューでは他のシステムと区別されませんが、Dell システム管理の起動ポイントは Unispace ウィンドウまたは Topology Browser (トポロジブラウザ) 内で固有のアイコンで識別されます。アイコンを表示するには、表 2-5 および表 2-6 を参照してください。関連する各システム管理アプリケーションの詳細については、「[その他の必要マニュアル](#)」を参照してください。

Dell として分類されたエージェント (OMSA、OMSS、DRAC、および CMC) を右クリックすることによって、様々なシステム管理アプリケーションを起動することができます。

OMSA/OMSS

Server Administrator は、統合されたウェブブラウザベースの GUI (Server Administrator ホームページ) から総合的な 1 対 1 のシステム管理ソリューションを提供します。Server Administrator は、ネットワーク上のシステムや接続されているストレージシステムをローカルおよびリモートの両方で管理するために設計されています。管理下システムに接続されたローカルまたはリモート ストレージの状態を表示し、管理下システムから接続されているストレージ デバイスの論理および物理的情報を取得できます。表 2-5 に、Dell エージェント (OMSA および OMSS) の追加情報をリストします。

表 2-5 WV エージェント: 追加情報

エージェント	起動されたアプリケーション	WV アイコン	CA NSM エクスプローラアイコン
Server Administrator	Server Administrator ウェブコンソール		
Storage Management Service	Server Administrator		

DRAC/CMC

RAC を使用すると、システムが停止している場合でも、システムをリモートで管理および監視することができます。DRAC 5、および iDRAC 6 は、Dell PowerEdge システムにリモート管理機能を提供するために設計されたシステム管理ハードウェアとソフトウェアのソリューションです。表 2-6 に、Dell エージェント（DRAC および CMC）の追加情報をリストします。

表 2-6 WV エージェント : 追加情報

エージェント	起動されたアプリケーション	WV アイコン	CA NSM エクスプローラアイコン
DRAC (帯域内リモートアクセスコントロール)	RAC コンソール (RAC からウェブベース)		
帯域外デバイス	DRAC		
CMC	CMC コンソール		

エラーメッセージ

表 3-1 には、OpenManage Connection の使用中に表示される可能性があるエラーメッセージ、およびこれらエラーを解決するための対処方法について記載されています。

表 3-1 接続エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	動作
CA NSM installation is not found.Setup cannot continue. (CA NSM のインストールが見つかりません。セットアップを続行できません。)	OpenManage Connection インストーラが CA NSM r11.1 SP2、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1 または CA NSM r11.2 SP2 のインストールを検知できません。	OpenManage Connection バージョン 3.4 のインストールを続行する前に、CA NSM r11.1 SP2、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1 または CA NSM r11.2 SP2 のそれぞれをインストールしてください。
Dell Openmanage CA Connection is not supported on the NSM installation. (Dell Openmanage CA Connection は、NSM インストール上でサポートされていません。)	CA NSM r11.1 SP2、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1、CA NSM r11.2 SP2 以外のバージョンの NSM に OpenManage Connection のインストールを試行している可能性があります。	CA NSM の旧バージョンをアンインストールし、CA NSM 11.1 SP2 / 11.2 CUM1 / 11.2 SP1 / 11.2 SP2 のいずれかをインストールして、OpenManage Connection バージョン 3.4 をインストールします。
The installation requires NSM DSM or NSM WV or NSM EM, Aborting setup. (インストールには、NSM DSM または NSM WV または NSM EM が必要です。セットアップを中止します。)	Distributed State Machine (DSM)、WorldView (WV)、または Event Management (EM) コンポーネントがご利用のシステムにインストールされていません。	CA NSM の DSM、WV または CA NSM の EM コンポーネントをインストールしてください。詳細については、『CA NSM 用 Dell OpenManage バージョン 3.4 インストールガイド』を参照してください。
Please select a Feature. (機能を選択してください。)	OpenManage Connection のインストール中、DSM、WV または EM コンポーネントを選択しませんでした。	1 つ、または複数の OpenManage Connection コンポーネントを選択してから、インストールを続行してください。詳細については、『CA NSM 用 Dell OpenManage バージョン 3.4 インストールガイド』を参照してください。

表 3-1 接続エラーメッセージ（続き）

エラーメッセージ	原因	動作
Unable to launch Management console.DSM is yet to populate all information for this object. (管理コンソールを起動できません。DSM は、このオブジェクトのすべての情報をまだ投入していません。)	DSM は、コンソール URL を MDB に投入していません。	次回の状態ポーリングまでお待ちください。DSM は、MDB に必須データの投入を試みます。
Unable to connect to system.Please verify IP connectivity. (システムに接続することができません。IP 接続を確認してください。)	管理下ノードが ping コマンドに応答しません。	管理下ノード上のネットワーク接続を確認してください。

トラブルシューティングとよくあるお問い合わせ（FAQ）

トラブルシューティング

OpenManage Connection の使用中に発生する可能性のある問題は次のとおりです。

Dell エージェントが検出されない

CA NSM WorldView で Dell エージェントを特定できない場合は、次の事項を確認してください。

- 管理下システムとのネットワーク接続が確立され、**ping** 応答で確認済みであること。
- Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストール済みで、管理下システムで実行されていること。
- SNMP が管理下システム上で設定されていること。
- 管理下システム上で SNMP コミュニティ名およびセキュリティ（コミュニティ名の読み取り / 書き込み）が正しく設定され、CA 管理ステーションと一致すること。
- エージェント上の SNMP コミュニティストリングおよび DSM ポーリングステータスが同じであること。
- OpenManage Connection が CA 管理ステーションにインストール済みであること。OpenManage Connection のインストールについての詳細は、『CA NSM モジュール Dell OpenManage Connection バージョン 3.4 インストールガイド』を参照してください。
- コマンドラインから **resetdsm** および **awsservices start** コマンドが実行されたこと。

これで、**WordView** および **Topology View**（トポロジビュー）にシステムが表示されます。システムの存在を確認するには、他の Dell システム管理コンソールで検出を行うこともできます。

警告を受け取れない

管理ステーションが警告を受け取れない場合は、次の事項を確認します。

- 管理下システムとのネットワーク接続が確立され、**ping** 応答で確認済みであること。
- Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストール済みで、管理下システムで実行されていること。
- 管理下システムで SNMP エージェントおよびトラップサービスが開始されていること。
- 管理下システムで OpenManage Server Administrator (OMSA) サービスが開始されていること。
- 管理下システム上で管理ステーションの IP アドレス宛にトラップを送信するように SNMP が設定されていること。
- 管理下システム上で SNMP コミュニティ名およびセキュリティ (コミュニティ名の読み取り / 書き込み) が正しく設定され、CA 管理ステーションと一致すること。
- RAC 警告を受け取れない場合は、次の手順に従って、EM メッセージコンソールで **opreload** コマンドを実行できます。
 - a OpenManage Connection バージョンに応じて、次に示すオプションから選択します。
 - OpenManage Connection バージョンが CA NSM r11.1 SP2、の場合は、**Start** (スタート) ボタンをクリックし、**Programs** (プログラム) / **All Programs** (すべてのプログラム) → **CA** → **Unicenter** → **NSM** → **Enterprise Management** → **EM Classic** (EM クラシック) と選択します。
 - OpenManage Connection バージョンが CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1 または CA NSM r11.2 SP2 の場合は、**Start** (スタート) ボタンをクリックし、**Programs** (プログラム) / **All Programs** (すべてのプログラム) → **Compute Associates** → **Unicenter** → **NSM** → **Enterprise Management** → **EM Classic** (EM クラシック) と選択します。
 - b **Windows** をダブルクリックします。
 - c **Event** (イベント) をダブルクリックします。
 - d **Console Logs** (コンソールログ) をダブルクリックします。
 - e Console Logs (コンソールログ) コマンドフィールドで、opreload を入力します。
コンソールログに RAC イベントが表示されます。

- RAC 警告がまだ表示されない場合は、EM メッセージレコードを確認してメッセージのインポートが正常に行われたことを確かめます。Dell リモートアクセスのメッセージが存在しない場合は、次の事項を行います。
 - a コマンドプロンプトを開きます。
 - b 次のコマンドを実行します：CCS (root) \WVEM\bin
directory\RACEvents.txt
 - c 上記の指示に従い、EM メッセージコンソールで opreload コマンドを実行します。

Server Administrator またはリモートアクセスコンソールが起動しない

Server Administrator または リモートアクセスコンソールを起動できない場合は、次の事項を確認します。

- 管理下システムで Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) サービスが開始されていること。
- 管理下システムが WorldView および Topology Views (トポロジビュー) で Dell 管理下システムとして検出されていること。
- ウェブブラウザ用のプロキシのバイパス情報が正しく設定されていること。
- RAC にネットワークの OpenManage Connection があり、電源に接続され、RAC が正しく設定されていること。



メモ： 検出後、起動ポイントの設定には最高 20 分かかる場合があります。

Dell 管理下システムのビジネスプロセスビュー (BPV) で Dell システムが見つからない

ドメイン ネーム システム (DNS) サーバーが存在しない、または正しく設定されていない場合、異なるサブネットにわたって存在する Dell システムは、Dell 管理下システムの BPV で検出に失敗します。

DRAC 5 デバイスが検出されない

OpenManage Connection は、ファームウェアバージョンが 1.51 および 1.6 である DRAC 5 デバイスの検出と監視をサポートします。DRAC 5 に必要なファームウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。

OpenManage Connection のインストール後、DRAC/CMC がモジュラ / モノリシックサーバーのようにグループ化されない

DRAC/CMC デバイスが OpenManage Connection のインストール前に検出された場合、これらのデバイスは Unclassified_TCP クラスに分類されます。DRAC/CMC ポリシーファイルは **DellIOOBDevice** タイプのデバイス上で実行されます。OpenManage Connection のインストール後に、コマンドラインから reclass コーティリシティを実行してください。これにより、DRAC/CMC デバイスが DellIOOBDevice クラスに分類しなおされ、デバイスタイプに応じて、デバイスが Dell 管理下システムのグループ下にグループ化されます。

イベントコンソールで SNMP トラップが未処理フォーマットで表示される

SNMP トラップが DSM ポリシーで処理された場合、SNMP トラップはイベントコンソールに未処理フォーマットで表示されます。イベント管理トラップデーモンを設定することにより、重複表示を防ぐことができます。NSM のバージョンによって、構文が異なる場合があります。

NSM r11.1 SP2

File: <WVEM>\caiuser\catrapd.cfg

```
# ignore Dell agent traps
*:*:*:*:1.3.6.1.4.1.674.10892.* ignore
*:*:*:*:1.3.6.1.4.1.674.10893.* ignore
```

NSM r11.2 CUM1, NSM r11.2SP1, and NSM r11.2SP2

File: <WVEM>\caiuser\catrapd_ipv6.cfg

```
# ignore Dell agent traps
*;*;*;*:1.3.6.1.4.1.674.10892.* ignore
*;*;*;*:1.3.6.1.4.1.674.10893.* ignore
```

アンインストール手順を簡略化する場合は、begin/add マーカーを追加します。CA-Unicenter サービスを再起動すると、このファイルへの変更が適用されません。あるいは、次のコマンドを使用してトラップデーモンを明示的に再起動することもできます。

catrapd sh (デーモンをシャットダウンする)

catrapd st (デーモンを起動する)

OpenManage Connection EM コンポーネントのインストール後、DRAC デバイスからの SNMP トラップが EM コンソール上で変換されない

- 1 SNMP トラップを受信できるように、管理コンソール上で SNMP トラップ処理が **ON** (オン) になっていることを確認します。
- 2 SNMP トラップ処理を有効にするには、**Enterprise Management** → **Configuration** (設定) → **Settings** (設定) → **SNMP Trap Server Activated** (SNMP トラップサーバーのアクティブ化) の順で選択し、値を **ON** (オン) にします。
- 3 DRAC メッセージレコード (EM コンポーネント) のインストール後、データベースに新しいレコードを読み込むには、イベントコンソールで **opreload** コマンドを発行します。

管理コンソールを起動できない

DSM が URL 情報を投入していない可能性があります。URL 情報は次のポーリングサイクル時に投入され、管理コンソールが起動されます。

Dell OpenManage Server Administrator エージェントの BMCIP プロパティが投入されず、値が「Not Set」(未設定)になっている

DSM が BMCIP 情報を投入していないか、管理下ノードにベースボード管理コントローラ (BMC) が搭載されていない可能性があります。DSM は、次回のポーリングサイクルに BMCIP (サポートされている場合) の取得と投入を試みます。

Dell デバイスを分類できない

Re-class コマンドの実行後にノードが Dell 管理下システムに分類されない場合は、**resetdsm** および **awservices** コマンドを DSM サーバーで実行します。

RHEL 6.0 オペレーティングシステムを搭載した Dell システムが Dell システムとして分類されない

RHEL 6.0 オペレーティングシステムと **netsnmp-5.5-27** を搭載した管理下ノードは、CA NSM コンソールでは **LINUX** ではなく **UNIX** のクラス名で検出されます。これらは誤ったクラス名であることから Dell ポリシーファイルはこれらのノードで実行されず、したがって Dell デバイスとして分類されません。この問題を解決するには、管理下ノードに **net-snmp-5.5-31** パッケージをインストールした後、CA NSM コンソールでシステムを削除して再検出します。

HTTPS ポート番号の変更後、iDRAC 6 モジュラデバイスでコンソール起動が機能しない

iDRAC 6 モジュラデバイス用の iDRAC ポート番号を変更した後、コンソール起動に失敗します。コンソール起動は、MCC コンソールでポート番号を変更すると機能するようになります。

ポート番号を変更するには、次の手順を実行します。

- 1 **MCC** コンソールで **Topology Views** (トポロジビュー) に移動し、iDRAC デバイスを選択します。
- 2 **Properties** (プロパティ) → **Others** (その他) と選択します。
- 3 **URLName** プロパティの値を、システムの適切な **https** ポート番号に変更します。

iDRAC 6 モジュラコンソールが正常に起動されるようになります。

よくあるお問い合わせ (FAQ)

- 1 Dell OpenManage Server Administrator Storage Management Service** にどのようにアクセスすればいいですか？
Storage Management Service は、Dell OpenManage Server Administrator のサービスとしてインストールされています。Server Administrator ツリービューで Storage オブジェクトを選択することで、Storage Management Service の機能にアクセスできます。
- URL 情報を MDB に保存するには、URL に最大何文字を使用できますか？**
255 文字です。255 文字を超えると、URL は 255 文字に切り詰められます。
- ユーザーがビジネスプロセスビューを削除した場合、どうなりますか？**
削除後は、ユーザーがデバイスの再検出を行わない限り、ビジネスプロセスビューは再作成されません。
- DSM コンポーネントのインストール時に、インストーラの完了画面でサービスの再起動のオプションを選択すると、なぜ待機時間があるのですか？**
Finish (完了) 画面で **Service Restart** (サービスの再起動) オプションを選択すると、インストーラは **resetsdm** および **awservices start** コマンドを実行します。awservices が起動するまで、数分かかる場合があります。
- イメージが MCC で正常に表示されない場合は、どうしたらいいですか？**
OpenManage Connection をインストールする前に、すべてのアプリケーションを閉じてください。また、OpenManage Connection のインストール後は、awservices が開始および実行されるまでお待ちください。詳細については、『CA NSM Diagnostics Guide』(CA NSM 診断ガイド) を参照してください。
- 仮想オペレーティングシステム (OS) はサポートされていますか？**
いいえ。仮想 OS はサポートされていません。
- コンソールを異なるブラウザで開くことはできますか？**
いいえ、異なるブラウザでコンソールを開くことはできません。コンソールはデフォルトブラウザのみで開くことが可能です。
- あるモジュラシステムを 1 つのシャーシから別のシャーシに移動した場合は、どうなりますか？**
ノードが適切にグループ化されるよう、NSM でオブジェクトを削除し、ノードを再検出する必要があります。

関連文書およびリソース

本章では、CA NSM モジュール Dell OpenManage Connection バージョン 3.4 の操作に役立つマニュアルおよび参考資料の詳細を提供します。

その他の必要マニュアル

本ガイドの他、support.dell.com/manuals から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。

- 『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズ ガイド』は、Dell OpenManage Server Administrator およびサーバー計装の使用についての情報を提供します。
- 『Dell OpenManage Server Administrator SNMP リファレンス ガイド』は、Dell SNMP MIB について記載しています。Dell SNMP MIB は、Dell システム管理エージェントの機能を行うよう標準 MIB を拡張する変数を定義します。
- 『Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド』には、Server Administrator ホームページの警告ログまたはオペレーティングシステムのイベントビューアに表示されるメッセージ一覧が掲載されています。このガイドは Server Administrator が発行する各警告メッセージのテキスト、重大度、および原因について説明しています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator Storage Management ユーザーズ ガイド』は、ストレージ コンポーネントの設定およびリモート管理についての情報を提供し、イベント メッセージおよびトラップ情報も含みます。
- 『Dell システムソフトウェアサポートマトリックス』では、各種デルシステム、サポートしているオペレーティングシステム、およびこれらのシステムにインストールできる Dell OpenManage のコンポーネントについて説明します。
- 『Dell OpenManage IT Assistant ユーザーズ ガイド』は、IT Assistant についての情報を提供しています。このガイドは、IT Assistant を介してリモートアクセスコントローラ (RAC) にアクセスする方法についても記載しています。
- 『Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド』では、DRAC 5 コントローラのインストールと設定方法、および RAC を使用した作動不能システムへのアクセス方法に関する完全情報を提供します。

- 『Dell Chassis Management Controller Firmware ユーザーガイド』は、Dell M1000e シャーシ システムにリモート管理機能と電源制御機能を提供する、シャーシ管理コントローラの設定および使用に関する完全な情報を提供します。

本書で使用されている用語については、デルサポートサイト support.dell.com/manuals の『用語集』を参照してください。

テクニカルサポートの利用法

CA NSM に関するサポートおよび情報は、NSM ウェブサイト ca.com/us/system-management を参照してください。

Dell システム管理ソフトウェアに関するサポートおよび情報は、Dell サポートサイト support.dell.com/manuals を参照してください。